

《2019年度 ICD 日本部会・年末集会特別講演》

日本とサンマリノ ―世界でいちばん古い国々―



駐日サンマリノ共和国 特命全権大使

マンリオ・カデロ

●抄 録●

日本とサンマリノ共和国には共通点があります。日本は世界最古の君主国であり世界でいちばん古い国です。日本は紀元前660年からですから今年で2679年です。サンマリノは世界最古の共和国で紀元301年からですから、今年1718年です。いちばん古い国と2番目に古い国です。この2つの国をよく知る者として考えていることを話します。

また、外国人から見た日本について、日本の良いところ、改善するべきところについてもお話しします。

「人間には元々病気はなく、人間が病気を作る」と、有名なギリシャ時代の哲学者が言いました。ギリシャ時代の人間が病気になるとまずどこを見ていたかという、歯です。歯の調子を見たら、健康か否か、大事なポイントでした。ですから、歯医者さんは、本当に重要だと感じています。

日本のお話は、山ほど良いお話がありますが、日本の伝統文化が世界にあまり正しく知られていません。メソポタミアとか、エジプト、ギリシャ、ローマ、マヤなど古い文明はいろいろありますが、実は日本の縄文時代の文明がいちばん古く、世界でいちばん古い文明＝日本の縄文時代の文明なのです。

皆さんご存知かもしれませんが、縄文時代にはいろいろなものが始まりました。まず始まったのは縄文式土器焼き物です。それからエコロジーも縄文時代に始まりました。それは1万5千年前ぐらいでしょう。その時代にはまだ、エジプトとかメソポタミアとか、ローマ、ギリシャなどの文明が生まれていません。だから、日本の縄文文明は本当に素晴らしいものなので

す。また、縄文時代の人にはものすごく元気でした。あまり病気をしない。虫菌も少なかった。(歯医者さんにとっては困るけどね。笑)

だから、縄文人は本当に最初のエコロジーな民族。例えば、割りばしですが、「くずの木」で割りばしを作っているんです。爪楊枝もそうです。こういった意味でも日本の縄文時代の文明を世界中に知らせるべきだと思います。

今のコンピュータや機械など、日本のテクノロジーは素晴らしいです。いろいろな国が多くの物を作っていますが、伝統文化は作れないですよ。立派な町を造ったり、立派な建物を作っているけど、伝統文化はちょっとありません。せっかく日本には、素晴らしい、深くて細かい文化・文明があるので、将来的には観光で収入を得られると思います。

日本とサンマリノ共和国には共通点があります。日本は紀元前660年頃からの世界で最古の天皇制の君主国です。ですから今年で2679年の歴史があるわけです。一方、サンマリノは世界最古の共和国で紀元301

年からで、今年で1718年経ちます。いちばん古い国と2番目に古い国なのです。

当時、まだイタリアができてないときにサンマリノ共和国（人口：3万6千人）ができました。イタリアが共和国になる前には、たくさんの小さい貴族の国が乱立していました。その中でサンマリノだけには貴族がいなく、農業中心の民族から共和国が始まりました。

共和国（Republicの意味）は、reが王様、publicが国民の意味。だから国民が王様でみんな同じ立場です。そして、サンマリノ共和国には年間観光客が300万人ぐらい来ます。人口が3万6千人に300万の観光客ですから人口の100倍ぐらい。どうしてサンマリノにこんなにたくさんの観光客がお見えになるのでしょうか。サンマリノ共和国の大きさは64キロ平方メートル、だいたい東京の世田谷区か大田区ぐらいです。ティターノ山という3つの峰の上にあります。それがどうしてイタリアの中にある共和国になったのかというと、大きな理由は、サンマリノがいちばん古く初めて共和国が始まったからです。これらに対する尊敬とか敬愛からサンマリノを皆で守りましょうと、今日でも観光客が絶えません。

日本とサンマリノ両国の絆の象徴として、『サンマリノ神社』が建立されています。この神社は、2011年3月11日、東日本大震災により亡くなった多くの犠牲者の方々を追悼するために建立された神社です。この神社は、ヨーロッパで初となる神道式神社です。神社ワイン（隣がブドウ畑）も有名です。オリーブの木は平和の意味がありますので、サンマリノ神社の周りにはオリーブの木を植えてあります。また、桜の木も植えていますよ。

この神社ができサンマリノ人は皆喜んでます。なぜならサンマリノは消費税がない国なので、世界中のいろいろな国の商品（中国、日本、韓国、台湾など）を免税で売っていますが、いちばんよく売れているの

が日本製なのです。日本製は買っても壊れたら直してもらえるからだそうです。そんなわけでサンマリノ神社を大切に詣でる方も多いのです。

一方、現在日本には神社が8万5千社ほどありますが、残念ながら神主、宮司さんがすごく減ってる。2万2千人ほどしかいないそうです。今後この調子が続いたら、あと10～20年ぐらいのうちに神社は減ってしまうかもしれません。それは非常にもったいないことですね。神社を守るのは非常に大事なことだと思います。日本の神社そのものが日本の財産の伝統文化なのですから。日本に来る外国の人の多くが日本各地の神社をお参りに行く。どこもきれいです。神社はやっぱ日本にしかない純粋なものなのです。だから守らなきゃいけないと思います。神社をはじめとする日本の伝統文化は山ほどありますけれど、もし皆さんお時間あれば、ぜひイタリアに来てサンマリノ神社にお参り下さい。お待ちしております。

最後に、サンマリノは日本と似ていますから、女性が男性よりやや多い。国に女性が多いことは平和の現れです。ちなみに日本は53%が女性です。女性が多い国は治安が良いです。女性が足りない国は治安が悪いです。女性こそが平和をつくるのです。ある国は2000万人、またある国は2500万人女性が足りません。大変ですよ。多くの国は、女性が足りず治安が悪いのです。ですから、皆さん女性を大事にしましょう。

（文責＝広報・編集委員会）

著書

- 1) コスモポリタンになろう—人生もっとシンプルに— マンリオ・カデロ著（株）三芳，平成24年，東京。
- 2) Why Japan ? —A Diplomat's Perspective— Manlio Cadelo（株）小学館，2015年。
- 3) 世界が感動する日本の「当たり前」，マンリオ・カデロ著，小学館新書，（株）小学館，2018年。
- 4) だから日本は世界から尊敬される，マンリオ・カデロ著，小学館新書，（株）小学館，2014年。